



Kainan East Rotary

DISTRICT 266

CLUB WEEKLY BULLETIN

事務所 海南市日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 3-0800

例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣才1例会のみ 18時30分 於海南商工会議所 4F

会長 片山博之 幹事 中村隆俊 会報委員 朝井・西川・名手・神谷

才331回 例会 昭和57年4月19日(月) 午後12時30分 於海南商工会議所

1. 開 会 司 会 片山博之会長
2. ロータリーソング 「我等の生業」
3. ゲスト紹介 厳 様 (江東R.C.) 《会長ゲスト》
4. ビジター紹介 遠藤香苗様 (海南R.C.)
5. 出席率の報告 85.00% 会員総数 47名 出席者数 40名
前回修正出席率 89.00%

6. 会長スピーチ

江東R.C.の厳(ウオン)さん、ようこそいらっしゃいました。心からご歓迎申しあげます。また、ビジターの遠藤様、よくお越しになりました。

沖縄では海開きが行われたそうですが、東北では雪が降ったようで、日本も広いのだなと感じられると同時に、もっと広い世界では、同じ志を相通じることの難かしさと重要性を、あらためて思い知らされます。

さて、4月18日から雑誌週間が始まりましたので、少しクラブ雑誌の歴史をといてみたいと思います。1910年8月、シカゴで開かれた全米連合大会で、連合大会のための刊行物発行の動議があり、反対論もありましたが、時の事務総長のC.Perryが、たまたま与えられていた文書発行の権限を利用して、大会終了後、クラブ間の連絡のために8頁のタブロイド版の小冊子を1911年の1月に作成し、各クラブに配付したのが雑誌の始まりであります。これが好評でしたが、経済的理由もあってそのままになりました。1911年8月の全米大会で、特集号(2号)が刊行されこの大会で、公式誌THE NATIONAL ROTARIANの発行が決議されました。そして1911年12月に才3号が刊行されましたが、経済事情もあって、その後は翌年1月と3月に刊行され、その後毎月定期刊行となって今日に到っております。なお1912年の9月にNATIONALが取られて、現在の「The Rotarian」になっています。我々の「ロータリーの友」は、1952年大阪での才60地区大会で発刊が決定され、1958年1月から毎月刊行されておりますが、その後一年間の実験期間を経て、1980年7月から国際ロータリーの公式地域雑誌と認められるようになり、一層の充実が計られて今日に到っているとのことです。雑誌週間にちなみ、歴史をちょっと説明させていただき、後は委員長さんに引継したいと思います。

7. 幹事報告

◎ メイキアップ

4月14日 追田博司君 海南R.C.

◎ 例会時間臨時変更のお知らせ

海南R.C. 5月19日(水) P.M. 6:00~ 海南商工会議所 大ホール

8. ゲスト挨拶 厳 様

◎ 1980年8月、始めて当クラブを訪問しましたが、その時の皆さんのご厚情に感謝いたします。今回、所用で東京へ参りましたが、こちらへ寄らずにそのまま帰国する事が出来ず、訪れました。今後共どうかよろしく。

9. 委員会報告

◎ 倉橋青少年活動委員長

来る5月3・4・5日開催の日韓友好交換絵画展について経緯説明。

◎ 上田国際奉仕委員長

例会終了後、委員会開催の連絡。

◎ 松田会員増強委員長

会員増強をしたいので、今月中に会員のご紹介をお願いします。

10 会員卓話 藤田益宏君(雑誌委員長)

今週は雑誌週間に当たりますので、若干のお話をしたいと思います。クラブ雑誌「ロータリーの友」は、昭和28年1月に創刊されております。当時は、全国一地区で、クラブ数は20、会員数は3,000人だったそうです。現在は、1,500クラブで会員数は8万5千人になっています。創刊後、雑誌の一番大きな変革は、縦の頁と横の頁が出来たことであります。昭和55年より国際公認誌として認定されております。ロータリーの事務局には、色々な友好雑誌が送られてきますが、この「ロータリーの友」は、その中でも水準の高い雑誌であります。家庭の中でも広く読まれており、日本のロータリーの中でも中心的役割を果たしております。人気のある記事は、「卓話の泉」「今月の言葉」「趣味の手帖」だそうです。現在一冊二百円ですが、これは赤字になっています。前に、雑誌に関するアンケートがありました。それによると可成り読まれているようであり。また、編集形式も、現行でよいという意見が70%程度あります。

「ロータリーの友」4月号の「友愛の泉」の欄に、目についた意見があったのでご紹介します。「運動不足は老化を進める。老化は血管から始まる。と云われるが、血管の早老現象を促進するのは、間違った食生活と運動不足である。専門家の研究によると、運動量が少ない程過食になりやすいそうである。運動は、スポーツだけでなく、肉体労働でもよい。一番手取り早いのは、歩くことである。自分の身体に適合した運動をする事が大切である。」

ニコニコ・米山・BOX

谷井昭三君(田岡君出席) 片山博之君(友あり、遠方より来たる)
藤田益宏君(始めて前で食事) 林孝次郎君(町内会長引継終了) 宮田敬之佑君
(会長・幹事の研修受講) 中村雅行君(委員会名簿を来週配付します)
山野裕正君(先日の理事会で、楠部君を引留しました) 楠部賢計君(山野君のご配慮に)
中村隆俊君(来週出張しますので) 倉橋利幸君(日韓絵画展よろしく)
田岡啓一君(親友ウオンさん、よろこそ)

次回例会案内 昭和57年4月26日(月) 午後12時30分於 海南商工会議所